様式2

社会資本総合整備計画　事後評価シート

豊島区3駅周辺地区

令和４年３月

東京都豊島区

様式２－１ 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	豊島区	地区名	豊島区3駅周辺地区	面積	14ha
交付期間	平成23年度～27年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	1,400百万円	国費率	1/2, 1/3

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	大塚駅前広場整備（南口+北口）、大塚駅南口自転車駐車場整備、池袋駅周辺自転車駐車場整備、池袋駅地下通路サイン整備、池袋駅周辺自由通路北デッキ設計、椎名町駅前広場整備、椎名町駅自由通路整備
	提案事業	

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	池袋駅地下通路サイン整備、池袋駅周辺自由通路北デッキ設計	鉄道事業者を含めた関係事業者との調整事項が多岐に渡り、具体的な進展が見込めなかったため。	－
	提案事業			
新たに追加した事業	基幹事業	池袋駅周辺地区バリアフリー基本構想改訂、池袋駅周辺地域安全確保計画	新庁舎の整備・移転を機に、バリアフリー基本構想のエリア拡大を反映する改訂作業を実施したため。 東日本大震災を機とした防災計画関連事業を追加。	－
	提案事業			

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当 初	平成　年度 ～平成　年度	
	変 更	平成　年度 ～平成　年度	

2）社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指 標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	3駅周辺の広場空間（歩行者優先空間）の整備状況を把握する	㎡	1,200	H22	5,600	H27	－	3,770	△	なし ●	椎名町駅は、事業完成にて新たな空間創出が出来た。大塚駅南口は、事業完成時期の延期。大塚駅北口は、事業着手延期	－
指標2	3駅周辺における放置自転車台数を把握する	台	1,266	H22	890	H27	－	380	○		自転車駐車場の整備は効果が顕著に表れる。併せて撤去活動を徹底することが、放置駐輪し難い環境を整えられた。	－
指標3	池袋駅周辺における一時滞在施設の収容可能人数を把握する	人	0	H22	42,400	H27	－	16,822	△	なし ●	新たな床を生み出す大規模都市開発が進まなかった。また、既存民間施設は、小規模が多く、指標の改善に大きく寄与しなかった。	－
指標4	池袋駅における帰宅困難者対策訓練への参加者数を把握する	人	8,600	H22	16,000	H27	－	18,681	○		東日本大震災を契機とした各者の積極的な取り組みや協力の結果によるもの。	－

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指 標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	－	－	－	－				－			－	－
その他の数値指標2	－	－	－	－				－			－	－
その他の数値指標3	－	－	－	－				－			－	－

4）定性的な効果発現状況

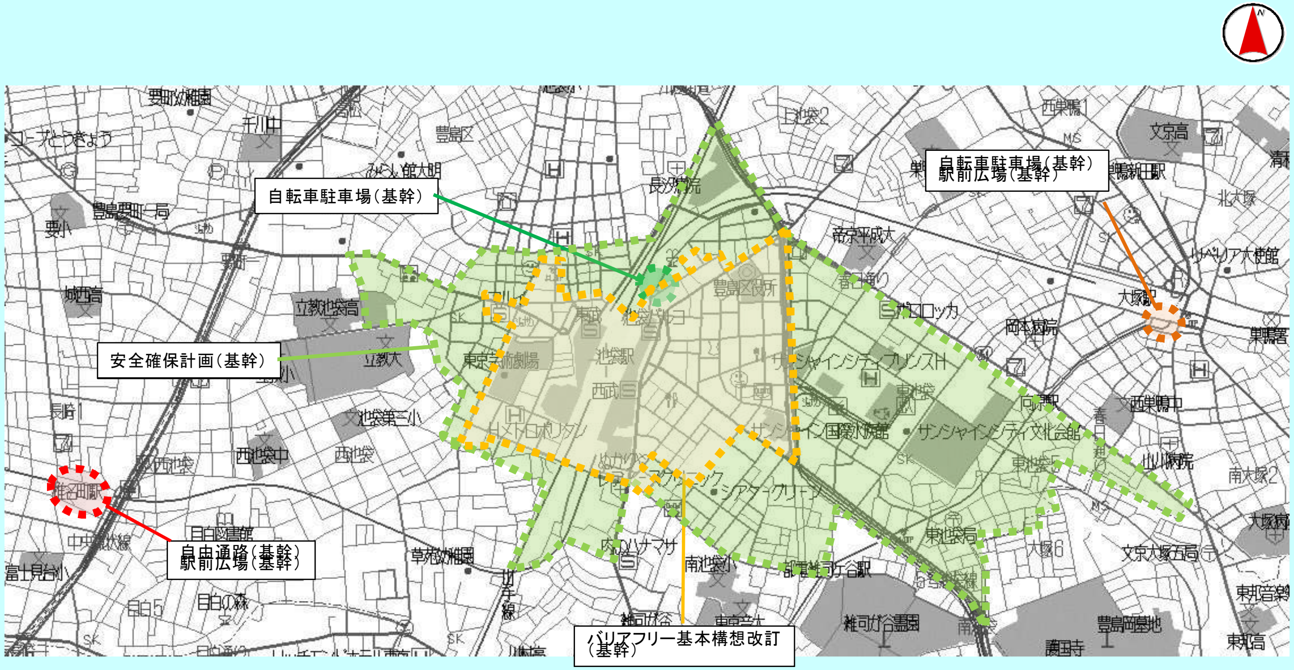
・椎名町駅駅前広場を整備したことで、安全性と利便性を備えた歩行者空間を創出できた。
・自転車駐輪場の整備を進め、駅周辺における放置自転車禁止エリアを設定し、放置活動を徹底することで放置し難い環境を整えることが出来た。
・備蓄物資や安全確保計画の策定により、池袋駅の災害時の機能強化が図れた。
・帰宅困難者対策訓練を継続実施することで、周りの意識啓発に繋がった。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	－	都市再生整備計画に記載し、実施できた	－	－
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	－	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	－	
住民参加プロセス	－	都市再生整備計画に記載し、実施できた	－	－
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	－	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	－	
持続的なまちづくり体制の構築	－	都市再生整備計画に記載し、実施できた	－	－
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	－	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	－	

様式２－２　地区の概要

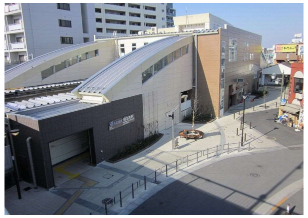
豊島区3駅周辺地区（東京都豊島区）　都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
地域の拠点となる鉄道駅及び駅周辺において、安全性と利便性を備えた快適な歩行者空間を整備することにより、賑わいと魅力が街中へと広がる都市環境を創造する。	3駅周辺の広場空間（歩行者優先空間）の整備状況を把握する	単位：㎡	1,200	H22	5,600	H27	3,770	H27
	3駅周辺における放置自転車台数を把握する	単位：台	1,266	H22	890	H27	380	H27
	池袋駅周辺における一時滞在施設の収容可能人数を把握する	単位：人	0	H22	42,400	H27	16,822	H27
	池袋駅における帰宅困難者対策訓練への参加者数を把握する	単位：人	8,600	H22	16,000	H27	18,681	H27



■基幹事業（交通）
・大塚駅南口自転車駐車場

■基幹事業（交通）
・池袋駅周辺自転車駐車場

■基幹事業（交通）
・椎名町駅自由通路
・椎名町駅前広場



まちの課題の変化	長年の課題であった「放置自転車対策」として、3駅での自転車駐車場整備事業を進めたことによって、大塚駅南口（整備中）を除き完成した。併せて「椎名町駅」「大塚駅」については、広場空間も整備することとなり、自転車放置禁止エリアを設定し、撤去活動を徹底することで、放置自転車をし難い空間整備作りの目途が立った。今後は、快適な歩行者空間維持のため、地元関係団体を巻き込んだ活動支援へシフトする。 また、池袋副都心交通戦略の実現と魅力あるまちづくり実現に向け、デッキ整備実現に向けた関係機関との調整および駐車場地域ルール作成などの施策展開を進める。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・事業中の整備を進めることと併せて放置自転車撤去を徹底する ・改善した歩行者空間維持に向けた地元団体の側面支援 ・意識啓発を目的とした多様な訓練の実施 ・都市開発に併せた防災協定の締結